

はしがき

国立国語研究所では、平成14年8月から平成18年3月まで、「外来語」委員会を設置し、公共性の高い媒体で使われている分かりにくい外来語を、分かりやすくするための言葉遣いの工夫について検討してきました。その検討の結果は、『『外来語』言い換え提案—分かりにくい外来語を分かりやすくするための言葉遣いの工夫—』として、4回の発表を行った後、総集編を刊行しました。

さらに、省庁・自治体の関係者をはじめとして広く一般に活用していただくために、次の一書も公刊しました。

国立国語研究所「外来語」委員会編

『分かりやすく伝える 外来語言い換え手引き』（平成18年6月、ぎょうせい）

こうした「外来語」委員会の活動と並行して、国立国語研究所では、公共性の高い媒体における外来語の使用実態や、それに対する国民の意識を把握する調査研究を実施してきました。その調査結果は委員会に提出され、『『外来語』言い換え提案』を支援してきましたが、調査研究の成果自体を、『『外来語』言い換え提案』とは別に公表すべきだという声も数多く寄せられていました。

この報告書は、『『外来語』言い換え提案』を支援してきた、国立国語研究所による外来語研究の成果を、公表するものです。編集は、主として、田中牧郎（研究開発部門言語問題グループ長）が担当し、桐生りか（研究開発部門言語問題グループ研究補佐員）がこれを助けました。

この報告書が、『『外来語』言い換え提案』とともに、外来語の問題を考える資料として広い範囲で役立てられることを願っています。

平成 19年 3月

独立行政法人 国立国語研究所長 杉戸 清樹